

我が国伝統のわざ・原材料等が継承の危機に

近年、重要文化財の修理や重要無形文化財の製作・公演等に必要な保存技術や用具・原材料について、存続が難しい状況や入手困難な状況などが深刻となっており、今後の文化財継承への懸念が指摘されている。

～継承に課題を抱える様々な例～

雅楽管楽器に用いる 煤竹

管用に用いる煤竹。古民家の茅葺屋根の天井や屋根裏で数十年から数百年にわたり燻されあめ色になったものを用いるが、近年では入手困難に。



(煤竹)

甲冑修理

金銅、革、漆などの材質、各緒の結び上げ技法や組立て構成などに熟練の技を要し、現在、国宝・重要文化財の甲冑修理を行っているのは一人のみ（東京）。修理に要する白なめし革、燻革、組紐（兵庫、千葉、神奈川）なども入手困難に。



美栖紙製作（表具用手漉和紙）

書画の掛幅などの表具や古文書等の修理に使用される伝統的な手漉和紙。現在、製作者は、高齢の一人だけで後継者不在（奈良）。



表具用刷毛製作

書画が表された絹や紙の裏打ちの際、手早く均一に糊を塗布するのに用いる。製作しているのは現在、千葉・京都の二か所のみ。刷毛部分に利用する鹿の夏毛、山羊毛なども入手困難に。



刷毛各種

和紙の原材料 楮

生産者の高齢化、需要の減少、価格の高騰化などにより、国内生産量が激減。産地により紙の風合いが異なり多様性確保が必要（茨城、高知など）



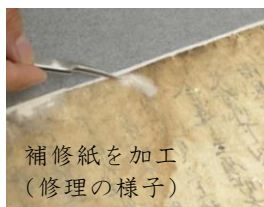
加工中の土佐楮

竹釘製作

檜皮や柿板を葺くための釘。水によって錆びる鉄釘では代用できない。現在、全国で竹釘製作を行っている事業所は1ヶ所（兵庫）のみ。



補修紙製作（表具用手漉和紙）



補修紙を加工（修理の様子）

書画などの修理で欠損部分を繕う補修紙。各時代の本紙に合致するようきめ細かさが求められる。現在、上質の補修紙製作者が激減。高知県1か所のみ（高知）。

邦楽器原糸

三味線、箏などの糸（絃）に用いる絹糸。一般の織物用と比べてしなやかさが求められる手作業による特別の製造方法による。近年その原材料生産が減少（滋賀、岐阜）。

手漉和紙用具製作



(笥桁(すけた))

手漉和紙製作に使用される用具は多様な和紙の種類に応じて規格を作り分け、かつ強靱なものが必要である。そのための良質な原材料の減少と後継者の確保が課題（高知）。

木炭製造

工芸品の研磨や鍛錬、保存修復の様々な工程で必要だが、木材の入手困難や後継者難などに課題（岡山）。



更なる実態把握と支援強化が必要